

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成30年度松阪市美術展覧会 第1回運営委員会
2. 開 催 日 時	平成30年5月17日(木) 午後2時から午後3時30分
3. 開 催 場 所	松阪市殿町1340番地1 松阪市教育委員会事務局2階 教育委員会室
4. 出席者氏名	(委員)山本静香、小林克巳、前村 実、前田祐英、梅川紀彦、 佐久美泉涯、山口友子、◎福田光子、○垣本和美 (◎委員長 ○委員長代理) (事務局) 別紙のとおり
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	無
7. 担 当	松阪市殿町1340番地1 担当者 : 浅原、山本 電 話 0598-53-4397 F A X 0598-22-0003 e-mail bun.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

- (1) 第59回松阪市美術展覧会開催について
- (2) ワークショップについて

議事録要約

別紙

平成 30 年度松阪市美術展覧会 第 1 回運営委員会議事録（要約）

開催日 平成 30 年 5 月 17 日（木）午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分

会 場 松阪市教育委員会事務局 2 階 教育委員会室

出席者 山本静香（日本画）、小林克巳（洋画）、前村実（彫塑）、前田祐英（美術工芸）、
梅川紀彦（写真）、佐久美泉涯（書道）、山口友子、福田光子、垣本和美
産業文化部長：村林、文化課長：榊原
文化振興担当主幹：山本、文化振興主任：石田、文化振興係：浅原

1 開会

2 委嘱状交付

3 部長あいさつ

4 自己紹介

5 委員長、委員長代理の選出

運営委員長に福田光子氏、運営委員長代理に垣本和美氏を選出。

6 議題

(1) 第 59 回松阪市美術展覧会について

①会場及び日程について

（事務局）

- ・会場は例年と同じく文化財センター。
- ・日程については、審査→火曜日（予備日：水曜日）、搬入→金曜日・土曜日、会期→土曜日まで、搬出→土曜日・日曜日に変更。

（運営委員）

異議なし

②開催要綱（案）について

（事務局）

- ・開館時間：第 1 部会期中の灯りコンサート開催日のみ午後 7 時（予定）までの夜間開催を実施する。
今年度は第 2 部会期初日の 10 月 20 日（土）に灯りコンサートを開催予定。
- ・会 場：文化財センターの第 1・第 2・第 3 ギャラリーに、全入賞入選作品及び招待作品を展示。

（運営委員）

異議なし

③作品公募要綱（案）について

◇「出品者資格」

（事務局）

- ・出品可能なのは「松阪市・多気郡在住者、および松阪市への通勤・通学者」

（運営委員）

- ・他市では市内の文化クラブに所属していれば、市外在住者であっても出品できるところもある。また通勤・通学の定義が曖昧でわかりにくい。どこまでの範囲が通勤・通学とみなされるのか。
- ・同じ松阪で開催されるクラブに通っていても、住んでいる地域によって松阪市展へ出品できる人と出品できない人がいる。同じ学びの仲間として一緒に出してもらえるようにすることも重要ではないか。
- ・松阪市への通勤者で松阪市展へ出品可能であることを知っている人がどれだけいるのか。通勤者に対する広報も厚くする必要がある。

（事務局・対応等）

通勤・通学については出品申込書に勤務先や学校名を書く欄があるので、そこで判断をしている。第 60 回にむけて、出品者資格の見直しや広報の方法について検討していく。

◇「作品規定」

（事務局）

- ・（H26 年度より継続）「絵画」部門の額装について、『枠張り作品については、制作意図に反する場合はこの限りでない』。
- ・水墨画について、昨年度の運営委員会でアクリル張りは禁止と確認、今年も同様とする。

（運営委員）

異議なし

◇「出品作品の搬入と搬出」

（事務局）

- ・搬入の受付時間は金曜日が午後 1 時～午後 7 時、土曜日が午前 9 時～午後 4 時。金曜日は平日のため、夜間まで受付時間を設ける。
- ・搬出の受付時間は土曜日が午後 4 時～午後 6 時、日曜日が午前 9 時から～正午。昨年度と曜日は変わるが、時間については変更なし。

（運営委員）

異議なし

◇「審査」

（事務局）

- ・審査会は火曜日で翌日の水曜日を予備日とする。時間は午前 9 時 30 分～正午。
- ・正午を回った部門は、審査が終了するまでは昼休憩を挟まずに審査をしていただいている。逆に審査が早く終わった場合はそこで終了とする。

（運営委員）

異議なし

◇「褒賞」

(事務局)

- ・岡田文化財団賞については、新人奨励賞という岡田文化財団の意向により、H27 年度から過去に上位賞や岡田文化財団賞の受賞経験がある人は岡田文化財団賞の対象からは外している。今年度も同様に取り扱う。

(運営委員)

異議なし

◇「表彰式」

(事務局)

- ・当初は 10 月 27 日（土）を予定していたが、市長の都合がつかなかったため 11 月 4 日（日）に変更。時間は午前 10 時 30 分～。
- ・会場については、例年使用している橋西地区市民センターはすでに他団体の使用予約が入っていたため、今年度は松阪市産業振興センター3 階の研修ホールで開催する。

(運営委員)

異議なし

④審査委員の選出と、審査ならびに展示について

◇審査委員の選出について

(事務局)

- ・今年度の審査委員について、例年どおり絵画 6 名、彫刻・工芸 6 名、写真 3 名・書道 3 名の計 18 名を昨年度の運営委員を中心に選出していただいている。絵画部門については、引き続き審査委員 6 名の中に、水墨画に精通した者を 1 名入れた人選を行っている。
- ・審査委員の公表については、今年度は非公表とするが、昨年度第 2 回の運営委員会で審査委員を公表しても良いのではないかという意見が出た。今後の審査委員の公表・非公表について審議をお願いしたい。

(運営委員)

- ・審査委員の公表については、松阪市展の長い歴史の中で公表しない方が良いのではないかという話し合いがされて、現在の形になっている。ただし今はもう公表しても良いのではないかというムードがあるなら、公表しても構わないと思う。一般市民がどう考えているかが大事。
- ・審査は公明正大に行なわれるべきである。また審査委員に関わらず、出品をしてもらえそうな雰囲気作りをした方が良い。
- ・他の展覧会でも審査委員を公表しているところがほとんどだが、公開しているからといって問題になっているとも聞かないので、公表しても良いと思う。
- ・当時は非公表にする理由があったのかもしれないが、今は時代が変わってきている。出したい作品を出して審査をしてもらうなら、公表で良いのではないかと思う。

(事務局・対応等)

今年度は非公表とするが、第 60 回に向けて検討していく。

⑤その他

◇広告について

(事務局)

- ・市展運営のための財源確保として、広告事業を進めている。6月中旬から7月中旬にかけて広告を募集し、集まった広告に対して審査を行い、適切と認められたものを会期中に配布する目録の裏表紙の裏面に掲載する。
- ・募集数は6枠、金額は10,000円と設定しているが、今年度の様子を見て来年度以降は募集数や金額を調整する。

(運営委員)

異議なし

◇第60回松阪市美術展覧会について

(事務局)

- ・来年度は第60回ということで、内容について何か意見があれば伺いたい。また第60回の準備を進めて行くために、今年度は秋頃に2回目の運営委員会を開催することを検討している。

◇今後のスケジュールの確認

(事務局)

- ・本日の内容を踏まえ、広報7月号に作品募集や広告募集について掲載予定。
- ・ポスターデザイン(年度ごと、各部門で作成)について、今年度は書道部門(佐久美委員)に依頼。ポスターが完成したら運営委員にも送付する。

(運営委員)

- ・ポスターのデザインは毎年変わっていくので、作者の名前を入れた方が良い。

(事務局・対応等)

- ・作者名の表記については確認を行っており、今年度はお名前を入れさせていただく。

(2)ワークショップについて

(事務局)

- ・今年度は「彫刻・工芸」部門(陶芸)でワークショップの開催を予定している。日時は8月17日(金)午後1時～。できあがった作品については市展第1部会期に合わせ、はにわ館内に展示予定。作品は展示後に制作者へ返却する。
- ・テーマは「お皿をつくろう!」。型や手を使って粘土をお皿の形にして、はんこや竹ひごなどで模様をつける。作品はワークショップ終了後、先生にお預かりいただき色付けや焼成などを行っていただく。
- ・6月中旬頃に学校を通して募集チラシを配布し、運営委員の方々にも送付させていただく。

(運営委員)

- ・高校生ボランティアは特定の高校以外からも集まりそうな状況なのか。また学校行事や総合的な学習などを夏休み等長期休業に実施するようになってきていることもあり、夏休みでも高校生は忙しくなっている。
- ・高校生に限らず、芸術に興味を持っている人、ボランティアに興味がある人はいると思うので、ボランティアの呼びかけを広く行ってはどうか。

- ・他市の学校で出前教室を行っているが、こういった取組みを行うことで芸術に興味を持ってもらうことは大切。またその中で使用する道具の扱い方なども教えていきたい。

(事務局・対応等)

高校生ボランティアについては、市内・多気郡の主な高校には募集の案内を送付している。今回はワークショップの募集人数を少なくしているのでボランティアはそれほど必要ではないが、来年度（第 60 回）のこともあるので、今後どの様にボランティアの募集を行っていくか検討している。バランスを考えながら、引き続き高校生にもお願いしていきたい。

7 閉会